

令和5年度学校経営計画書

学校名 三次市立川西小学校

校長名 平田 雄三

I 学校の状況

学級数	3	児童・生徒数	24	教職員数	6
メールアドレス	kawanishi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.miyoshi-kawanishi-e.hiroshima-c.ed.jp				

II 学校教育目標

【塩町中学校区ゴール目標】

「確かな学力を身に付け、他者との関わりを通して、自らを伸ばそうとする子供の育成」

【川西小学校学校教育目標】

『自ら学び 友と関わり 未来を拓く』

～ ふるさと川西を愛し ともに きたえ みがき のびる ～

「ともに」 とは・・・自分から 友と関わる子

「きたえる」とは・・・心と体を「元気」でたくましくする子

「みがく」とは・・・「勇気」をもって挑戦する子

「のびる」とは・・・目標に向かって、「根気」強く最後までやりぬく子

【めざす子ども像】

「元気」とともにきたえ合う子・「勇気」とともにみがき合う子・「根気」とともに伸び合う子

【めざす学校像】

○信頼される学校

子供が(保護者が)「この学校で学んで(学ばせて)よかった。」と思える学校

地域の方が「見に行きたい。」「協力したい。」と思える学校

III 使命・存在意義 (ミッション)

□確かな学力を身に付け、ふるさと川西を愛し、地域創生に参画していく生きる力を備えた人づくりを行い、地域の活性化に貢献する学校をめざす。

IV 重点事項 (努力点)

以下の資質・能力を育成する。

知識・技能	①基礎的・基本的な知識や技能の習得
思考力 判断力 表現力	②思考力：課題発見・情報収集力，知識・技能を活用する力 ③判断力：情報を取捨選択し，問題解決の方向性や結論を決定する力 ④表現力：自分の意思・意見を相手に分かりやすく伝える力
学びに向かう力 人間性	⑤主体性：受動的に学ぶのではなく，主体的に学習に取り組む態度 ⑥協働性：様々な人々と互いの良さを引き出しながら協働する力 思いやりの心を持ち，他者や地域に貢献する力

【確かな学力定着のために】

- (1) 川西複式授業スタイルの構築…児童の「聞く力」「話す力」「話し合う力」の伸長
- (2) ICTの効果的な活用…間接指導の充実と個に応じた基礎・基本の定着

【豊かな心の育成のために】

- (1) 道徳科授業の充実…自分を見つけ他者との関わりに重点をおいて
- (2) 相手を意識したレベル5の挨拶及び返事の励行

【たくましい体の育成のために】

- (1) 月ごとの児童会目標の意識化と実践化
- (2) 朝の会での基礎体力運動の実施

【信頼され、地域とともにある学校になるために】

- (1) 迅速で丁寧な組織的対応（児童・保護者・地域）
- (2) 保小中高連携教育の推進及び組織的なコミュニティ・スクールの導入準備

V 中心価値・行動規範**行動規範＝「子供は私たちの姿を見て育つ」****【めざす教職員像】**

- 私たちは、子供たちの命を守り、安心・安全な学校を作ります。
- 私たちは、協働して子供たちの可能性を伸ばします。
- 私たちは、地域に学び、自らを鍛え、磨き、成長します。
- 私たちは、教育のプロとして授業力の向上に邁進します。

VI 現状分析**【確かな学力の定着】**

- 川西学びのスタイル重点目標（指導者アンケート・4段階評価）
「聞く力」「話す力」「話し合う力」の3項目平均2.93
- 市販テストにおける「読み・書き・計算」の正答率80%以上の児童の割合92%
- 三次市学力到達度検査結果【全学年を単純平均した正答率】

教科 区分	国語			社会			算数			理科		
	本校	市	全国	本校	市	全国	本校	市	全国	本校	市	全国
単純平均	84.3	78.3	65.7	70.3	69.5	65.7	77.2	76.2	70.5	79.5	71.6	68.0

- ・学年や個による差はあるが、本校の児童は概ね学力が定着している。
- ・算数科の記述問題に課題があり、算数的表現力の向上を図る必要がある。

【豊かな心の育成 たくましい体の育成】

- 道徳科授業の充実（指導者アンケート4段階評価）……充実度評価2.9
- 「挨拶」（児童アンケート）……肯定的評価79%
- 「自己肯定感」（I-CHECK）……4項目平均肯定的評価83%
- 「早寝早起き」（生活アンケート）……達成率73%
- 「立ち幅跳び」（新体力テスト）……全国平均を上回った児童の割合67%
・いずれも横ばい傾向にあり、向上を目指した指導が必要である。

【信頼される学校】

- 「情報発信」「家庭との連携・連絡」（保護者アンケート）…肯定的評価89%
- 「一か月あたりの平均時間外勤務時間」……20時間59分（昨年度比約23%減）
・取組の成果が見取れる。今後も丁寧な保護者対応や業務改善に取り組む。

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標・担当	短期経営目標	具体的な取組・方策
確かな学力の定着	<p>■主体的・対話的で深い学びにより学力の向上を図る。 【教務部】</p>	□基礎基本の定着	○漢字の読み書き・計算等の定着にICT機器と帯タイムを活用
		□自分で考え、友と関わり合いながら学ぶ力の向上	○「川西モデル」道徳科・算数科授業の研究と実践 ○川西学びの系統性を基にした「聞き方」「話し方」「話し合い方」の指導
		□多様な表現形式を用い、自分の考えを表現する力の向上	○多様な作品コンクール等への応募
豊かな心の育成	<p>■他者に感謝し、思いやりの心をもって行動する力を育てる。 【生活保健部】</p>	□相互に認め合える学校・学級づくり	○児童一人一人がお互いのよさを認め合える活動の推進 ・学校～児童会による褒め合い活動(学期に一回) ・学級～友達のよさ見つけ活動
		□相手や場に応じた挨拶や返事をする習慣の確立	○「レベル3」の挨拶と気持ちのよい返事の指導と肯定的評価の声かけ
たくましい体の育成	<p>■健康に関心をもち、元気でたくましい心と体を作り、体力の向上を図る。 【生活保健部】</p>	□基本的な生活習慣の確立	○日常的な家庭との連携 ○機をとらえた学級指導、朝会での指導
		□体力・耐力の向上	○体育でサーキットトレーニングの実施 ○朝の会で基礎体力運動の実施
信頼され、地域とともにある学校	<p>■地域と学校の相互の連携と協働に努め、「信頼される学校」「地域とともにある学校」づくりを推進する。 【全職員】</p>	□保護者満足度の高い学校づくり	○迅速で丁寧な組織対応 ○HP や学校だより等で積極的な情報発信
		□地域や保小中高と連携・協働した教育活動の推進	○保小中高合同活動の実施 ○地域の「ひと・もの・こと」に学ぶ教育活動の実施 ○地域や小中連携によるコミュニティ・スクールの導入準備